



駒場松桜会会報

第81号

来年の「同窓の集い」は平成20年6月7日(土)
幹事学年は駒20、30、40回卒業の皆さんです

世代を越えて311名が大集合 盛況だった第1回松桜会同窓の集い

6月2日(土)午後2時30分から母校に隣接するこまばエミナース・ダイヤモンドの間で開かれた第1回松桜会同窓の集いは、来賓・幹事生など予想を上回る311名が参加、2002年にパレスホテルで開催した母校創立100周年記念パーティー以来の盛り上がりを見せた。

マンネリ化し停滞気味だった年1回の講演会を含む総会をリニューアルしたこの催しには幹事会を設定、初年度は駒19回と39回が本部役員に協力してさまざまな企画や準備を担当した。定例総会のあと生演奏や謡い、スライド上映などのアトラクションを含む懇親パーティーに移り、飲食と語らいのひと時は世代を超えて親睦を深めた。

参加した最長老は第三26回の上田光子元理事長(95)、最年少は今年3月卒業の駒59の9名のみなさんで、当日1時からの駒場高校の校内見学の案内も引き受けてくれた。この見学会も好評で今回は80名の参加があり、3班に分け実施、美しく整備された各施設に感嘆の声をあげていた。そのほか赤ちゃんを乳母車で連れて出席したお母さんや、地方からの泊りがけや海外ドイツからの参加者もあつた。会場は立食パーティーのため、いろいろなテーブルを廻り飲食をしながら楽しく談笑する参加者からは、従来の総会では見られない笑顔があつた。ことばではあらわせない当日の表情は、4~5面の見開き写真をご覧いただきたい。

6月2日(土)午後2時30分から母校に隣接するこまばエミナース・ダイヤモンドの間で開かれた第1回松桜会同窓の集いは、来賓・幹事生など予想を上回る311名が参加、2002年にパレスホテルで開催した母校創立100周年記念パーティー以来の盛り上がりを見せた。

マンネリ化し停滞気味だった年1回の講演会を含む総会をリニューアルしたこの催しには幹事会を設定、初年度は駒19回と39回が本部役員に協力してさまざまなか企画や準備を担当した。定例総会のあと生演奏や謡い、スライド上映などのアトラクションを含む懇親パーティーに移り、飲食と語らいのひと時は世代を超えて親睦を深めた。

参加した最長老は第三26回の上田光子元理事長(95)、最年少は今年3月卒業の駒59の9名のみなさんで、当日1時からの駒場高校の校内見学の案内も引き受けてくれた。この見学会も好評で今回は80名の参加があり、3班に分け実施、美しく整備された各施設に感嘆の声をあげていた。そのほか赤ちゃんを乳母車で連れて出席したお母さんや、地方からの泊りがけや海外ドイツからの参加者もあつた。会場は立食パーティーのため、いろいろなテーブルを廻り飲食をしながら楽しく談笑する参加者からは、従来の総会では見られない笑顔があつた。ことばではあらわせない当日の表情は、4~5面の見開き写真をご覧いただきたい。

6月2日(土)午後2時30分から母校に隣接するこまばエミナース・ダイヤモンドの間で開かれた第1回松桜会同窓の集いは、来賓・幹事生など予想を上回る311名が参加、2002年にパレスホテルで開催した母校創立100周年記念パーティー以来の盛り上がりを見せた。

マンネリ化し停滞気味だった年1回の講演会を含む総会をリニューアルしたこの催しには幹事会を設定、初年度は駒19回と39回が本部役員に協力してさまざまなか企画や準備を担当した。定例総会のあと生演奏や謡い、スライド上映などのアトラクションを含む懇親パーティーに移り、飲食と語らいのひと時は世代を超えて親睦を深めた。

参加した最長老は第三26回の上田光子元理事長(95)、最年少は今年3月卒業の駒59の9名のみなさんで、当日1時からの駒場高校の校内見学の案内も引き受けてくれた。この見学会も好評で今回は80名の参加があり、3班に分け実施、美しく整備された各施設に感嘆の声をあげていた。そのほか赤ちゃんを乳母車で連れて出席したお母さんや、地方からの泊りがけや海外ドイツからの参加者もあつた。会場は立食パーティーのため、いろいろなテーブルを廻り飲食をしながら楽しく談笑する参加者からは、従来の総会では見られない笑顔があつた。ことばではあらわせない当日の表情は、4~5面の見開き写真をご覧いただきたい。

2007年9月1日発行
財団法人 駒場松桜会(都立駒場高校同窓会)
〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内
電話 03-3466-7579
振替番号
00190-8-28486

「松桜会同窓の集い」を終えて

松桜会理事長

横河 利恵子(駒8)

日頃は何かと同窓会の諸活動にご支援ご協力をいただいており厚くお礼を申し上げます。

松桜会も新たな取り組みで前進しております。会員が一堂に集う年一度の総会も改革が検討されて総会の後に懇親会を含めた「同窓の集い」として再出発させたのもその一環です。

百周年など記念行事以外で参考費用をいたたくのも初めてのことで、予定の人数が集まるかが心配でしたが、予想を上回る大勢の方からご賛同をいただき、心からお礼を申し上げます。

今回の実施にあたっては中心となつて企画から実施までさまざまご協力をいただいた幹事学年の方々には深く感謝を申し上げます。おかげさまで参加くださつた多くの方から「とても楽しい会だった」「来年も友人を誘つて参加したい」などうれしいお言葉もいただきました。

第三の先輩にも大勢ご参加いたきました。松桜会は明治・大正・昭和・平成と4代に亘ります。第三時代の優雅な雰囲気と駒場時代の活発な新風を加え、これからも楽しく有意義な同窓会活動をつづけてまいりたいと願っております。

今後も皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



英 順子氏(駒9)
イタリア「コメンダトーレ」受章

外交官夫人としてタイ・
英國・イタリアにて生活
現在 日本ヴェルディ協
会常務理事



昨年2月に、イタリア政府から日伊両国の友好関係の促進に尽くしたとして、「コメンダトーレ」という勲章を授与されました。

駐伊大使として赴任した夫と共に、4年近くをローマで過ごしましたが、私自身が特に表だったことをしたわけではありません。妻としての陰の努力を認めてくださったそうで、大変有り難く、光栄なことに感じております。

当時「イタリアにおける日本年」の大々的な催しがイタリア各地に展開され、両国の多くの人々の努力により、イタリア人が歌舞伎、能、仏像などに触れて日本に対し大きな興味を引き起させた様子は印象的でした。

授章式の後に、在日伊大使ご夫妻が公邸に家族や友人を招いて、パーティーを催して下さいました。人数に限りがありましたので、駒場8回生の桐島洋子さん、鳥居清光さんにご出席をお願いして受章を祝つて頂き、嬉しく晴れがましいひとときを過ごしました。

イタリア大使を最後に夫は退官して、ようやく日本に定住することが出来ました。イタリア在勤がご縁となり、2001年に友人知人らと「日本ヴエルディ協会」というNPO法人を立ち上げ、今はヴエルディのオペラを楽しむ会を続けております。

今「演劇をやりたいなら駒場に行け」と言われるという演劇部の沿革は、第三代校長廣瀬雄先生が赴任された昭和5年に始まった。小杉明子元松桜会理事長(第33回)によると、当初は談話部と呼ばれており、校友会大会(学園祭)で公演が行われていたとのことです。

太平洋戦争末期には軟弱であるとして活動は停止されていた。昭和20年5月の空襲で校舎は焼失、翌年9月大橋の旧陸軍の兵舎を改修して移転した。敗戦後の苦しい生活の中でも若い生徒達は自由と青春を謳歌していた。演劇部も活発に活動し、昭和22年12月第一回都高等学校演劇コンクールで慶應普通部、都立八高(現小山台)と共に演し、ベナベンテ作「王子」で優勝した。その後、家庭や担任の猛反対にあいながら生徒達の手で渋谷公会堂で自主公演を成功させた苦労を、スタッフの一人新谷弘子(駒3)は語った。

当時の演劇部員には下村節子(高等科26回)伊藤巴子・佐野正枝(駒2)などプロになった人達があり、校舎2階の3教室を打ち抜いた講堂で、モリエールの「女学者の群」等を上演、本格的な演技で生徒たちを魅了した。河内(下村)節子は俳優座で演出も手掛け、後に東京芸大でオペラの演技指導者になり、梨田(佐野)は文学座で活躍、故七尾怜子(第38回)、友部光子(駒4)はNHK放送劇団の声優として有名であった。

昭和25年校名が駒場となり、演劇部初の男子部員、宇佐美進一(駒6)は、大学では児童演劇活動で全国を廻った。渾太防一枝(駒7)は民芸の演出家で朗

演劇部の今むかし

読の指導者。30年代には黒テント主宰者の佐藤信(駒14)、俳優座の青山眉子・前進座の高橋優(駒15)、劇団雲の故浜名樹義(駒17)も部員だった。

男子部員不在の年もあったが、部は確実に活動を続けていた。演目も時代に連れて変わり、昭和50年代にはつかこうへの作品が多く上演された。

これはこの時のように、初代の支部長は山岡尚子様(D43)が別役実作「卵の中の白雪姫」で第42回演劇コンクール東京中央大会で一位となり、全国大会で優秀賞を獲得した(写真)。その後も中央大会出場を続け、平成16年第50回全国大会には駒57・58が岡村多佳子(駒44)作「アイズ」で出場、坂本充広(駒43)も指導に当たるなど伝統は脈々と続いている。



近年になり演劇の経験者で東京都高校演劇連盟事務局長を務めていた櫟木茂義先生(国語科・現国立高校)を指導者に持てたことは、レベルは元々高かつたとはいえ、演劇部が花開くきっかけとなり、今日の隆盛をもたらしたと言えよう。

(駒59)の言葉である。

以下は今春卒業した部長馬渕ゆかり(駒59)の言葉である。

「演劇部の活動では役者、スタッフそれぞれが尊敬し合い、良い舞台を創ろうと一生懸命でした。そんな部員達は私の自慢の仲間です。3年間の部活動で培つたものは私を一まわり大きくしてくれ、何物にも換えがたい貴重な財産になつています。」

(組織部)

鎌倉支部活動報告

久保田 雅子

鎌倉支部は昭和37年を第一回として始められました。以前にも6回生7回生の方々が発会を試みられたようですが、時代も悪く本格的に始まつたのはこの時のようにです。

初代の支部長は山岡尚子様(D24西)、次は筒井寿美江様(D34東)で、お二方とも亡くなられまでご立派に支部長のお役を果たして下さいました。昭和61年より鎌倉連合婦人同窓会が運営している「婦人子供会館」のホールをお借りして支部会を行なっています。山岡・筒井両先輩のお人柄か、鎌倉地区の方のみならず、遠方よりたくさんの方々が集まってくださって、昼食後に大先輩方の経験豊かなお話を後輩方の立派なお仕事のお話など自己紹介に伴う一時もとても楽しい時間です。その後、校歌・感謝や懐かしい思い出の歌を歌い、最後はコチロンで終わります。

これからは第三も先細りしていきますので、駒場の方々が増えてくださるのが願いです。毎年九月の最終土曜日と決めておりますので今年は9月29日(土)に行います。皆様のご参加をお待ち申しております。

連絡先は

○四六七・二二・〇六四〇
久保田まで

松桜会コンサート 見どころ・聞きどころ



2007年 松桜会コンサート

むらかみまさえ
村上雅英ソプラノリサイタル

メディチ家からブルボン王朝へ
(17~8世紀イタリア・フランスの音楽)

出演者

村上 雅英(駒19) ソプラノ
品川 聖 ヴィオラ・ダ・ガンバ
寺村 朋子 チェンバロ、ポジティフィオルガン

曲 目

ペーリ 「エウリディーチェ」より
カッチーニ なんと幸せな日
ゲドロン ではあの空に輝く妙なるものは
ムリニエ 我らが仲間
クーブラン 暗闇のルソン 他

日 時

2007年12月1日(土)
開演 午後2時 (開場 午後1時30分)

場 所

東京オペラシティ・リサイタルホール
(京王新線 初台駅下車)

入場料

3000円(全席自由)

●チケットのお申し込みは松桜会事務局に
電話、FAX、葉書またはメールで
11月26日(月)までにお申し込み下さい。

TEL/FAX: 03-3466-7579
mail: komaba999@komaba.or.jp

私は武蔵野音楽大学の声楽科に
進学し、以来ずっと歌い続けて今
ここになりました。村上雅英です。
駒場19回普通科卒業です。進路を決
める2年生の終わりに教員志望と
して大学の規則書を取り寄せたら、
ピアノの他に歌の実技試験があり
ました。担任をして頂いた音楽科の
高橋智子先生に声楽の先生を紹介
して頂き、駒場音楽科の学内演奏会
のオーディションにも参加させて
頂きました。歌を習い始めたばかり
の私は音楽科の先生方は大変親切
にアドバイスを下さり、音楽大学声
楽科への進学を勧めて下さいました。
すっかりその気になってしまつた
私は武蔵野音楽大学の声楽科に

松桜会の皆様、こんにちは。
今年の松桜会演奏会をやらせて頂
くことになりました。村上雅英です。
駒場19回普通科卒業です。進路を決
める2年生の終わりに教員志望と
して大学の規則書を取り寄せたら、
ピアノの他に歌の実技試験があり
ました。担任をして頂いた音楽科の
高橋智子先生に声楽の先生を紹介
して頂き、駒場音楽科の学内演奏会
のオーディションにも参加させて
頂きました。歌を習い始めたばかり
の私は音楽科の先生方は大変親切
にアドバイスを下さり、音楽大学声
楽科への進学を勧めて下さいました。
すっかりその気になってしまつた
私は武蔵野音楽大学の声楽科に

松桜会の皆様、こんにちは。
今年の松桜会演奏会をやらせて頂
くことになりました。村上雅英です。
駒場19回普通科卒業です。進路を決
める2年生の終わりに教員志望と
して大学の規則書を取り寄せたら、
ピアノの他に歌の実技試験があり
ました。担任をして頂いた音楽科の
高橋智子先生に声楽の先生を紹介
して頂き、駒場音楽科の学内演奏会
のオーディションにも参加させて
頂きました。歌を習い始めたばかり
の私は音楽科の先生方は大変親切
にアドバイスを下さり、音楽大学声
楽科への進学を勧めて下さいました。
すっかりその気になってしまつた
私は武蔵野音楽大学の声楽科に

細な音楽を生み出しました。
1600年ピッティ宮ではメディ
チ家のマリーとフランスの王アン
リ4世の婚礼がとり行われ、現存
期にかけての音楽を演奏致します。
これらの音楽を擁する時代にしば
し思いを馳せてみましょう。

絶爛豪華な文化を開花させたイタ
リアのフィレンツェでは、メディ
チ家の館、サンタ・マリア・デル
フィオーレやジョットの塔、ヴェ
ネツィアではサン・マルコ大聖堂、
ローマではサン・ピエトロ大聖堂、
など壮大な建築物に囲まれ、街全
体が美術館の様です。また絵画や
彫刻ではフラ・アンジェリコの「受
胎告知」、ボッティチエッリの「春」
〔ヴィーナスの誕生〕、ミケランジェ
ロやラファエロなどの素晴らしい
作品の数々…。これらの場所では音
楽を伴ったイベントが頻繁に催され
れ、自由闊達な音楽が行われていま
した。スタイルも多岐に渡り、ラテ
ン語による敬虔なポリフォニー、話
し言葉であるイタリア語で話すよ
うに歌うレチタールカンタンド、通
じ言葉であるイタリア語で話すよ
うに歌うレチタールカンタンド、通

進学し、以来ずっと歌い続けて今
に至っています。

今回はルネッサンスからバロック
の音楽を演奏致します。

この音楽を擁する時代にしば
し思いを馳せてみましょう。

奏低音という方式を編み出したモ
ノディー、など高度に洗練された纖
細な音楽を生み出しました。

1600年ピッティ宮ではメディ
チ家のマリーとフランスの王アン
リ4世の婚礼がとり行われ、現存
期にかけての音楽を演奏致します。
これらの音楽を擁する時代にしば
し思いを馳せてみましょう。



第三33回生学年会

卒業70周年と
米寿を祝う

1割の18名の出席でしたが、足
腰もしっかりと元気に集まつ
て来られ、昔の面影に懐かしさ
いっぱいでした。

女流歌人賞受賞者、NHK料
理講師、教育者等、各方面で活
躍された方も多く、その都度

いつも心の中には強い第三精神
の支えがあり、この日まで生き
抜いてこられたことを語り合い、
友達の有り難さに心から感謝い

たしました。

これが最後の筈でしたが、ま
た会いたいとの要望にて、次は
卒寿祝で皆でお会いすることを
固くお約束して、お名残惜しみ
つつお別れいたしました。

これが最後の筈でしたが、ま
た会いたいとの要望にて、次は
卒寿祝で皆でお会いすることを
固くお約束して、お名残惜しみ
つつお別れいたしました。

これが最後の筈でしたが、ま
た会いたいとの要望にて、次は
卒寿祝で皆でお会いすることを
固くお約束して、お名残惜しみ
つつお別れいたしました。

小杉明子(33回中級)







第1回 駒場松桜会 同窓の集い写真集

平成19年6月2日（土）駒場エミナース

撮影・中川 聰（駒32）

駒場高校大学合格状況

国公立大学	H18		H19	
	現	浪	現	浪
群馬大	1			
宇都宮大	1			
筑波大	2		1	
埼玉大	4	1		
千葉大	2	1		
お茶の水女子大	1			
東京大		1		
東京医科歯科大	2			
東京外国语大	1			
東京学芸大	7	5	1	
東京農工大	1	2	1	
東京芸術大	2			
東京海洋大	3			
電気通信大	2	3		
一橋大			1	
新潟大	1			
信州大	1		1	
横浜国立大	2	5		
大阪大	1			
首都大学東京	6	8	2	
都留文科大	1			
横浜市立大	2	2	2	
職業能力開発総合学校			1	
都留文科大			1	
横浜市立大	4	2		
合計	39	31	11	

私立大学	H18		H19	
	現・浪	現	現・浪	現
拓殖大		1	1	
玉川大		11	2	3
多摩美術大		1	3	1
中央大		27	26	8
津田塾大			1	
帝京大		7	2	
東海大		9	12	2
東京医療保健大		7	10	2
東京家政大		2	4	
東京経済大			2	
東京工科大		1	2	
東京女子大		6	5	2
東京女子体育大		2	1	
東京電機大		2	4	2
東京農業大		10	17	3
東京薬科大		3	1	
東京理科大		12	13	2
東邦大		2	1	
東洋大		29	14	9
日本大		42	38	11
日本社会事業大		3	2	
日本獣医学科大		1	2	
日本女子大		22	12	2
日本女子体育大		4	6	
日本体育大		5	4	1
日本女子体育大		6		2
日本赤十字看護大		2		
日本体育大		5	4	
文化女子大		1	1	
文京学院大			2	1
法政大		45	48	8
星葉科大		2	1	
武蔵大		3	3	2
武蔵工業大		10	14	2
武蔵野大		10	1	1
武蔵野音楽大		1	1	
武蔵野美術大		1	2	
立教大		21	19	6
立正大		1	5	
明治大		56	42	13
明治学院大		30	31	6
明治薬科大		5		1
明星大		3	2	
立教大		25	27	10
立正大		5	2	
早稲田大		42	17	15
麻布大		2		2
神奈川大		14	6	2
神奈川工科大		1		
神奈川大	14	6	2	
関西学院大		1		
関東学院大		1		
北里大	10	6	1	
共立女子大		2	1	
共立薬科大		2	3	
杏林大		4	2	
慶應義塾大	8	9	3	
恵泉女学園大		3		
工学院大	6	5	1	
國學院大	3		8	
国際医療福祉大		2		
国際基督教大		1		
国士館大	12	6	1	
駒澤大	23	18	2	
実践女子大	1	1		
芝浦工業大	9	8		
順天堂大	3	5		
上智大	12	7	6	
昭和女子大	10	6	2	
昭和大	4	1		
昭和薬科大	5			
白梅学園大		1	1	
白百合女子大		2		
成蹊大	15	7	3	
成城大	10	4	3	
聖心女子大		1		
専修大	21	25	5	
創価大	4	5	1	
大東文化大	4	3		
合計		718	594	157

平成18年度収支計算書 財 駒場松桜会

平成19年3月31日

単位:円

科目	予算額	決算額	差異
会費収入	7,625,000	7,183,000	- 442,000
入会金	1,625,000	1,645,000	20,000
会費	6,000,000	5,538,000	- 462,000
事業収入	650,000	451,060	- 198,940
音楽会	0	0	0
松桜会講座	650,000	451,060	- 198,940
利息収入	5,550	37,407	31,857
基本財産	5,000	5,815	815
積立財産	150	1,079	929
運用財産	400	1,333	933
百周年口座	0	22,015	22,015
寄付金	0	7,165	7,165
寄付金収入	0	10,000,000	10,000,000
雑収入	15,000	19,728	4,728
百周年口座取崩	100,000	216,825	116,825
積立金取崩収入	0	1,055	1,055
当期収入計 (A)	8,395,550	17,909,075	9,513,525
前期繰越収支差額	3,788,700	4,139,674	350,974
合計 (B)	12,184,250	22,048,749	9,864,499

差異は決算額 - 予算額とした 19年度会費前受金 21,000円

支出の部 単位:円

科目	予算額	決算額	差異
事業費	5,900,000	5,620,966	279,034
講演会	100,000	92,749	7,251
助成金	250,000	250,000	0
会報発行発送費	4,300,000	4,223,669	76,331
編集・印刷	1,400,000	1,389,628	10,372
発送・通信	2,900,000	2,834,041	65,959
名簿維持費	200,000	81,585	118,415
H P 維持費	100,000	84,060	15,940
学園祭参加経費	100,000	106,851	- 6,851
音楽会経費	0	53,865	- 53,865
松桜会講座経費	700,000	574,667	125,333
コチロン活動経費	50,000	60,910	- 10,910
卒業記念品費	100,000	92,610	7,390
管理費	2,395,550	2,345,430	50,120
諸手当	900,000	898,500	1,500
会議費	200,000	130,809	69,191
消耗品費	100,000	90,482	9,518
通信費	200,000	170,250	29,750
交通費	500,000	497,190	2,810
備品費	200,000	318,253	- 118,253
公租公課	50,000	22,900	27,100
雑費	245,550	217,046	28,504
予備費	100,000	0	100,000
積立金繰入支出	0	1,079	- 1,079
寄付金繰入支出	0	10,029,180	- 10,029,180
基本財産繰入支出	0	5,815	- 5,815
当期支出計 (C)	8,395,550	18,002,470	- 9,606,920
当期収支差額 (A) - (C)	0	- 93,395	93,395
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,788,700	4,046,279	- 257,579
合計	12,184,250	22,048,749	- 9,864,499

差異は予算 - 決算とした

平成19年度事業計画

(平成19年度3月20日)

- 松桜会同窓の集い (第4条-1)
平成19年6月2日 (土) 午後2時30分 (受付2時より)
こまばエミナースダイヤモンドの間
総会と集いの会 助成金 都立駒場高等学校生徒会へ贈呈
- 松桜会講座 (第4条-2)
上期 (4月～9月) 下期 (10月～3月) に分けて開催
- コチロンを踊る会 (第4条-2)
毎月第3火曜日 (除8・12月) 都立駒場高等学校 (生徒ホール)
第1木曜日 (除8月) 駒場幼稚園ホール
- 音楽会 (第4条-3)
松桜会コンサート 東京オペラシティ・リサイタルホール
平成19年12月1日 (土) ソプラノ村上雅英 (駒19)
- 学園祭参加 (第4条-4)
平成19年9月16日 (日)、17日 (月) 展示及び休憩所設営
- 松桜会会報発行 (第4条-5)
平成19年4月 (80号)、平成19年9月 (81号)
- ホームページ (第4条-6)
- 仰光寮誌編纂 (第4条-6)
- 同窓会報・松桜会会報・駒場高校新聞のデジタル化 (第4条-6)

